

2 環境学習

県民一人ひとりが環境を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要であるという考えのもと、環境保全の実践に結びつくものとするため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。平成26年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

県では、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。今年度も、環境に関する広範囲かつ専門的な知識の習得を目的として基礎課程、実践課程を開講した。

開講期間：8月23日～11月22日。各課程全10回。受講者：88人。修了者：74人。

開講式公開講座

開催日	講義名	講師名
8月23日	大気環境～東京、ソウル、北京オリンピックと関連して～	埼玉県環境科学国際センター 総長 坂本和彦

閉講式公開講座

開催日	講義名	講師名
11月22日	水環境保全の課題と展望	生態工学研究所 代表 東北大学大学院工学研究科 客員教授 埼玉県環境部 顧問 須藤隆一



開講式公開講座



閉講式公開講座

基礎課程

開催日	講義名	講師名
10月4日	地球環境・埼玉の環境 埼玉県の温暖化の実態とその影響 －温暖化の生物・農業・健康への影響－	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 嶋田知英
10月4日	廃棄物管理 持続可能な社会を求めて －江戸から現在を見た厨芥400年史－	日本工業大学 教授 小野雄策
10月11日	化学物質 化学物質と私たちの暮らし	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 野尻喜好
10月11日	埼玉の環境 埼玉の環境－現況と対策－	埼玉県環境部環境政策課 主査 大澤千恵子

開催日	講義名	講師名
10月18日	自然環境 県民の鳥、県の花などの選定は正しかったのか	埼玉大学 非常勤講師 巢瀬 司
10月18日	環境経済学の基礎 原発問題と廃棄物問題から考える	東京経済大学 准教授 野田浩二
10月25日	水環境 健全な水循環と里川の再生	埼玉県環境科学国際センター 専門研究員 木持 謙
10月25日	環境法学 環境と法	東京経済大学 教授 礪野弥生
11月 1日	大気環境 埼玉県の大気環境	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 梅沢夏実
11月 1日	環境国際協力 日本の環境国際協力	(独)国際協力機構 地球環境部 森林自然・環境保全担当 鈴木和信

実践課程

開催日	講義名	講師名
8月30日	環境学習の現状と課題 環境学習の今後の取り組み	立教大学大学院 教授 阿部 治
9月 6日	環境学習プログラムをデザインする 環境学習プログラムをデザインする(演習)	学びの広場 代表 小川達己
9月13日	環境学習から環境まちづくりへ 学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割	NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター 代表 森 良
9月20日	事例研究① 地域で実践する里山保全活動	むさしの里山研究会 理事長 新井 裕
9月20日	事例研究② 市民・学校・行政とのコミュニケーション	埼玉県環境アドバイザー 浅羽理恵
9月27日	生物多様性の保全について 生物調査方法の実践(生態園にて実地演習)	(公財)埼玉県生態系保護協会 統括主任研究員 高野 徹

2.2 公開講座

彩の国環境大学修了者フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室を開催した。

講座名	開催日	テーマ	参加者
① 彩の国環境大学修了者フォローアップ講座 環境保全活動や環境学習活動を行う彩の国環境大学修了者の支援を行うため開催している。	1月24日(土)	講演 「中国の環境は今どうなっているか？日本への影響は？」 活動事例発表 「加須低地・旧騎西領の地域探索」	59人

講座名	開催日	テーマ	参加者	
② 生態園体験教室 生態園における観察会や野外活動を通して身近な環境のしくみの理解や自然と生活との共生のあり方における自然環境保護意識の向上を図るため開催している。	4月29日(火)	自然は友達！ネイチャーゲームで遊ぼう	89人	
	5月5日(月)	自然観察会 見てみよう感じてみよう 春の生態園	50人	
	7月19日(土)	川の生き物で環境調査をしよう	32人	
	8月2日(土)	昆虫の標本を作ろう	46人	
	8月9日(土)	竹で工作しよう ～うぐいす笛～	67人	
	11月14日(金)	ダンボールクラフト ASIMOを作ろう	80人	
	11月14日(金)	自然観察会 見てみよう感じてみよう 秋の生態園	100人	
	12月13日(土)	実りのリースを作ろう	51人	
	2月28日(土)	冬のバードウォッチングを楽しもう	29人	
	2月28日(土)	絶滅危惧種を守ろう ～希少野生植物「サワトラノオ」の植え替え体験～	15人	
	③ 県民実験教室 簡易な科学実験やリサイクル工作を通して環境保全意識の向上を図るため開催している。	4月27日(日)	3D万華鏡を作ろう	140人
		5月4日(日)	空気で遊ぼう！考えよう！	144人
		5月6日(火)	サイエンスショー「しゅぼしゅぼ」	215人
		6月22日(日)	廃油からリサイクル石けんを作ってみよう	43人
7月21日(月)		大気の性質を調べてみよう	38人	
7月27日(日)		水の性質を調べてみよう	68人	
8月17日(日)		一家に1台必需品！乾電池チェッカーを作ろう	120人	
9月28日(日)		身近な物の中の化学物質を調べてみよう	22人	
10月19日(日)		音と振動のなぞを調べてみよう ～実験とものづくりで確かめる音の正体～	16人	
11月14日(金)		サイエンスショー 「空気がちカラもち！？」「-196℃の世界」	528人	
12月14日(日)		草木染めをしてみよう	47人	
12月21日(日)		廃油からクリスマスアロマキャンドルを作ろう	38人	
1月25日(日)		手回し発電機で遊ぼう ～作ってみよう使ってみよう電気のエネルギー～	47人	
3月29日(日)	ゴム動力自動車を作ろう ～走れGO!GO!～	73人		

(25講座、計2,157人)

2.3 身近な環境観察局ネットワーク

環境に関心がある県内の個人や団体に、簡易な環境調査法を学習する機会を設けている。観察局数:71局(平成27年3月31日現在)。

身近な環境観察局では、年間を通じて大気・水質・酸性雨・一般指標生物・ハンノキとミドリシジミの調査を行っている。

平成26年度は新規応募者研修会を3回、大気測定会を5回実施した。また、身近な環境観察局ワーキンググループ活動成果発表会を実施し、観察局間の交流を図った(2月21日(土) 参加者31人)。

2.4 研究施設公開

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日に研究施設の一般公開を行っている。

開催日		内容	参加者
5月6日(火)	ゴールデンウィーク	普段非公開の研究施設を見学するツアーを実施	87人
8月7日(木)	夏休み		45人
11月14日(金)	県民の日		86人

(計218人)

2.5 地域環境セミナー

地域環境セミナーは、県内地域の環境保全活動を支援するため、センターの職員が地域に出向いて行うもので、自治体や環境保全団体等との共催、もしくは協力を得て実施するものである。

9回目の今回は、県、環境大学修了生の会、県内の環境保全団体や埼玉県地球温暖化防止活動推進センターなどから構成する実行委員会に参加し、「第5回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」を実施した。

開催日	会場	内容	参加者
11月15日(土)	日本工業大学 学友会館ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 日本工業大学 建築学科教授、教務部長 成田健一 氏 「涼しさを感じる街づくり～Passive Urban Design～」 ・分科会 「エコ住宅」、「環境教育」、「ごみ問題」、「身近なエネルギー」、「里山と生きもの保全」 ・ポスター展示 環境科学国際センターの取組をPR 	フォーラム 参加者数 154人

2.6 その他

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日等に各種イベントを実施した。

イベント名	開催日	内容	備考
① ゴールデンウィーク特別企画	4月26日(土)) 5月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・自然観察会 ・リサイクル工作 ・研究所公開 	参加者延 5,300人
② 夏休み特別企画	7月19日(土)) 8月31日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・研究所公開 ・各種環境講座 	参加者延 7,663人
③ 県民の日特別企画	11月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・自然観察会 ・オリエンテーリングクイズ ・研究所公開 	参加者延 3,825人
④ 上映会	4月26日(土)) 3月29日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「大海原の決闘！クジラ対シャチ」 ・「恐竜大進撃」 ・「マイクロの小宇宙」他 	参加者延 3,098人

(計19,886人)